

農林水産省登録  
第20068号

芝専用殺菌剤

セレントーフ<sup>®</sup> 顆粒水和剤

<sup>®</sup>は登録商標

農林水産省登録第20068号

確実な効果

比較的安全性が  
高い

散布効率が良い



Bayer Environmental Science

## セレンターフ顆粒水和剤の特長

- ① 尿素系の接触型殺菌剤でリゾクトニア病原菌の生育阻止作用が強い薬剤です
- ② リゾクトニア菌の侵入、進展に対して強力な阻止力を持つので長期間に亘り優れた予防効果を発揮します (メゾステミック浸透)
- ③ 発病後の散布でも強力な進展阻止力を示すため、散布以降の葉腐病(ラージパッチ)の進展を阻止します (治療効果)
- ④ 散布後の降雨による流亡が少ないので雨の多い時期の散布でも十分な効果が期待できます
- ⑤ 紫外線による分解が少なく安定した効果が得られます
- ⑥ 葉腐病(ラージパッチ)に対して優れた残効性を有しており、一般的に40~50日の残効期間が期待できます

## セレンターフ顆粒水和剤の上手な使い方

- ① 葉腐病(ラージパッチ)の発生直前、又は直後にセレンターフ顆粒水和剤0.5g/m<sup>2</sup>を0.2~0.5 l/m<sup>2</sup>を均一に散布してください。

- ② 散布液が芝の葉鞘や地際部に付着することで、以下の試験結果から安定した防除効果が期待できます。

### ● 菌糸生育抑制と菌核発芽阻止

本剤の有効成分ペンシクロンは0.78ppmの低濃度でも病原菌*Rhizoctonia solani*の菌糸生育を完全に抑え、また菌核の発芽を阻止します。

濃度	菌叢阻止率	菌核発芽率
0ppm	0.0%	50.0%
0.2ppm	46.0	38.3
0.78ppm	100	0.0
3.13ppm	100	0.0
12.5ppm	100	0.0
50.0ppm	100	0.0

### ● 残効性

セレンターフ顆粒水和剤は散布30日後の調査でも防除価80以上の効果を示します。

### ● 耐雨性

ペンシクロンを散布したポット稲に散布翌日に人工降雨装置で1時間あたり降水量40mm、雨滴粒径3mmを2時間処理。処理後から20日間にわたり所定時期ごとに病原菌を接種して発病状況を調べたところ、無降雨の場合に比べ、ほとんど防除価の低下は認められませんでした。他剤では降雨処理後10日目頃から効果の低下が顕著に認められました。

- ③ 予防散布重点に防除するのが望ましいが、発生直後の散布でも効果が期待できます。

## 葉腐病（ラージパッチ）の生態

① 気温が20℃前後で多雨になると発生しやすい。春季は20℃を越えた時、秋季は15℃を下回る日が続くと発生する。また排水不良で湿潤となりやすい部分では、降雨が少なくても発生しやすい。山間高冷地では春から秋まで継続的に発生するところもある。

### ② 葉腐病（ラージパッチ）の各ステージ

● 発生初期のラージパッチ。  
赤褐色の帯が特徴  
(コウライフェアウエイ 9月)



セレンターフ顆粒水和剤をすぐ散布してください。散布2～3日後に赤褐色が薄まり、進展阻止効果が期待できます

● 一度停止したラージパッチが梅雨の低温で再活動  
(コウライフェアウエイ 6月)



● ラージパッチの激発  
(コウライフェアウエイ 5月)

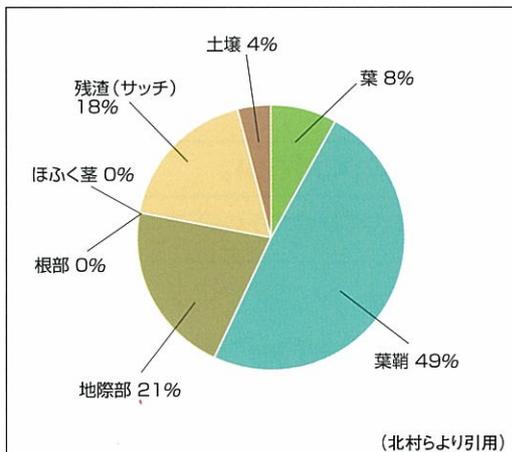


セレンターフ顆粒水和剤の薬量0.5g/m<sup>2</sup>を確実に投下してください

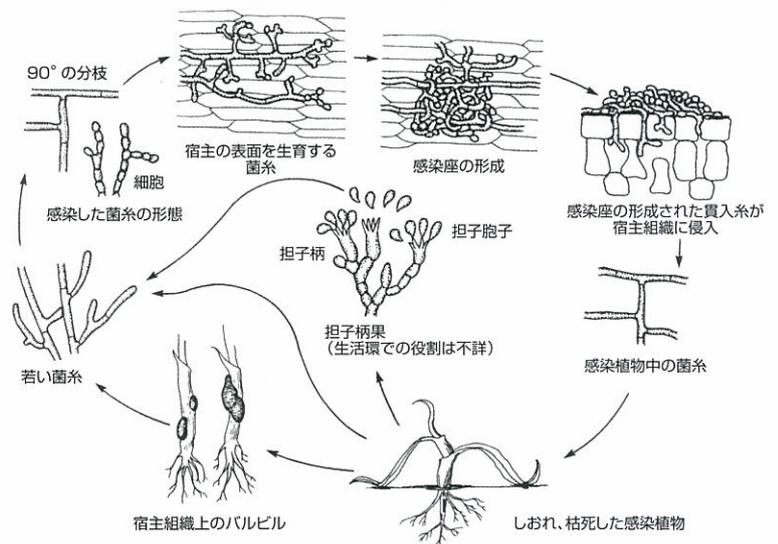
● 気温の上昇により自然回復傾向のラージパッチ  
(コウライフェアウエイ 6月)



### 葉腐病（ラージパッチ）が発生しているターフ中のリゾクトニア菌分布



### 葉腐病（ラージパッチ）の生活環



(「芝草病害概説」より引用)

## 適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	使用時期	1㎡当り使用量		使用回数*	使用方法	
			薬量 (g)	希釈水量 (ℓ)			
芝	日本芝	葉腐病 (ラージパッチ)	発病初期	0.5	0.2~0.5	6回以内	散布

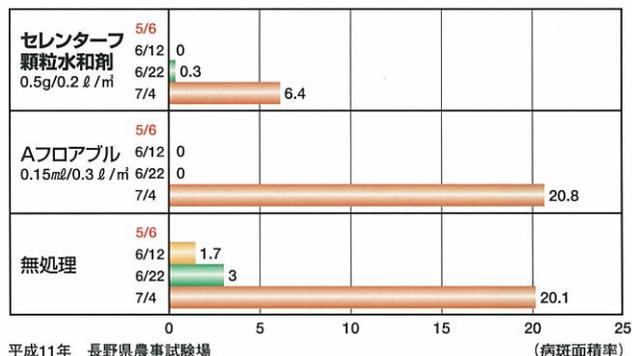
\*印は本剤及びベンシクロンを含む農業の総使用回数。

## 使用方法の目安

希釈倍率 (倍)	散布水量 (ℓ/㎡)	1,000 ℓ タンクで散布できる面積 (㎡)	1,000 ℓ タンク当りのセレンターフ顆粒水和剤の使用量
1,000	0.5	2,000	1kg (1袋)
600	0.3	3,333	1.67kg (1袋と2/3袋)
500	0.25	4,000	2kg (2袋)
400	0.2	5,000	2.5kg (2袋と1/2袋)

## 試験成績

### ラージパッチ予防効果

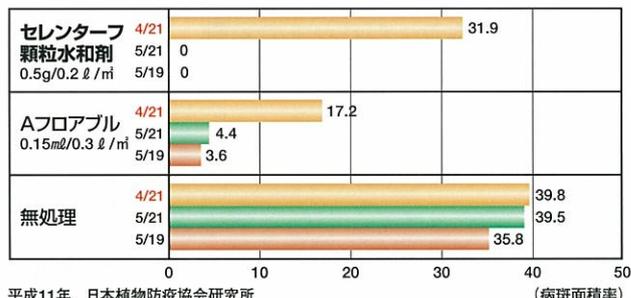


平成11年 長野県農事試験場

- 品種 ノシバ
- 区制・面積 1区20㎡、2連制
- 薬剤処理 5月6日
- 調査 6月12日 (散布37日後)  
6月22日 (散布47日後)  
7月4日 (散布2ヵ月後)

■備考 セレンターフのデータについては、モンセレン水和剤と同薬量の読み替え。

### ラージパッチ治療効果



平成11年 日本植物防疫協会研究所

- 品種 コウライシバ
- 区制・面積 1区50㎡、2連制
- 薬剤処理 4月21日
- 調査 4月21日 (散布時)  
5月12日 (散布21日後)  
5月19日 (散布28日後)

■備考 セレンターフのデータについては、モンセレン水和剤と同薬量の読み替え。

### ⚠ 使用上の注意事項

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 粉末は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。
- かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意してください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 本剤は水産動物に影響を及ぼしますが、通常の使用方法では問題がありません。



●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

- 使用前にラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

取扱店

®は登録商標

製造販売

バイエルクロップサイエンス株式会社  
エンバイロサイエンス事業本部  
〒100-8262 東京都千代田区丸の内1-6-5  
www.bayercropscience.co.jp